

金沢大学・環日本海域環境研究センター
共同利用シンポジウム

海流が繋ぐ日本海—オホーツク海の海洋循環・物質循環の変動機構

日時：2017年12月13日(水) 13時00分～18時00分

場所：石川四高記念文化交流館

- 13:00-13:05 金沢大学・環日本海域環境研究センター長 挨拶 長尾 センター長
- 13:05-13:10 シンポジウム趣旨説明 (西岡)
(座長：西岡)
- 13:10-13:30 白岩孝行(北大低温研)・長坂晶子(北海道立総合研)・長坂有(北海道立総合研)・
速水将人(北海道立総合研)・的場澄人(北大低温研)
「別寒辺牛川の水文特性：2017年の予察調査結果」
- 13:30-13:50 落合 伸也 (金沢大大学院自然研)
「大気由来放射性核種を用いた貯水池・流域系における地表物質の流出挙動」
- 13:50-14:10 松中 哲也 (金沢大大学院自然研)
「放射性ヨウ素 129 を用いた日本海における海洋循環に関する研究」
- 14:10-14:30 諸角 季生 (金沢大大学院自然研)
「 $^{228}\text{Th}/^{228}\text{Ra}$ 比および $^{234}\text{Th}/^{238}\text{U}$ 比の空間分布および季節変動からみた東シナ海・日
本海・オホーツク海における粒子吸着性成分の循環」
- 14:30-14:50 牧 和幸(元北大環境科学院)・西岡 純(北大低温研)
「黒潮域における栄養物質供給」
- 14:50-15:10 井上 睦夫(金沢大学・環日本海域環境研究センター)
「日本海の放射性セシウム」
- 15:10-15:30 休憩
(座長：江淵)
- 15:30-16:10 西川はつみ(北大低温研)・三寺史夫(北大低温研)
「北太平洋亜寒帯域の高解像度物質循環シミュレーション」
- 16:10-16:30 兼田 淳史(福井県立大)
「若狭湾・越前沖で収集した ADCP 音響散乱強度データの分析」
- 16:30-16:50 千手智晴(九大応力研)
「大和海盆深層で観測された近慣性内部重力波」
- 16:50-17:10 滝川哲太郎(長崎大院水産・環境)・橋本涼介(長崎大水産)・渡辺俊輝(山口水研セ)・
千手智晴(九大応力研)・森本昭彦(愛媛大沿岸セ)
「水位差によって見積もられた山口県沿岸を通過する対馬暖流の変動」
- 17:10-17:30 佐々木央岳(元北大低温研)・的場澄人(北大低温研)
「アラスカのアイスコア中に含まれる陸域起源物質」
- 17:30-17:50 長尾 誠也 (金沢大学・環日本海域環境研究センター)
「日本海でのプロジェクト研究とその連携の可能性について」

閉会